【UDを通してめざす子供像】　「わかる」「楽しい」と主体的に学ぶ子

～すべての子供たちが参加できる授業づくり～

個別最適な学びにつなげるUD

協働的な学びにつなげるUD

R6年度の具体的な取組（研究主題に関わって）

①スクリーニングテスト活用した取組（考える力）

・国語科スクリーニングテストの活用（昨年度実施）

・低学年に焦点化⇒系統立てたアセスメント

②コミュニケーションの力の向上（学び合い）

・系統立てたSSTワークの実施

・コミュニケーションゲームの推進

・コグトレの実施による認知機能の向上

土台となる教育のユニバーサルデザイン

授業のユニバーサルデザイン　<わかりやすい授業>

A焦点化

・「学習のめあて」の明示
　→学習ボードの活用
・発問の工夫
・課題の精選
・効果的なワークシートの活用

しぼって分かる

B 共有化

・言語活動の共有
　→話し合い活動を通して、考えを伝え合う
・思考過程の共有
　→ねらいに向かう思考を共有することでより深める

話し合って分かる

C 視覚化

・ICTの活用
　→モニターやタブレットの効果的な活用
・板書、掲示物の工夫→図式化、イラストの活用
・「見える化　→タイムタイマーの利用
　→聴覚的だけではなく視覚的な情報の提示

見て分かる

教室環境のユニバーサルデザイン

<環境の構造化>

①刺激量の調整(教室まわり・音の調整など)

②整理整頓の工夫（置く場所の固定化・構造化）

人的環境ユニバーサルデザイン

<安心感・居心地の良いクラス>

①ソーシャルスキルの向上（話す、聞く、共感するなど）

②雰囲気・空気感づくり（違いを認め合える、教師の笑顔など）